

**Pick up!** **地域情報** 北海道の各地域から話題をお届けします。

北海道内市町村  
広報紙(誌)  
ページへのリンク集

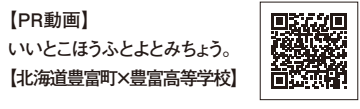
**豊富町** **豊富高等学校の生徒たちが  
行きたくなる地域の魅力をYouTubeで発信!**



豊富高等学校3年生「地域PR班」 [PR動画] いいとこほうふとよとみちょう。

豊富町では町の魅力を発信するため、Instagramで「いいとこほうふ豊富町フォトコンテスト2022」を開催!  
このコンテストの推進アドバイザーに豊富高等学校の生徒7人が就任。地域を探究しながら調査や取材を進め、自分たちが感じた「豊富町の魅力」を動画にまとめ、YouTubeで発信しています。

問い合わせ先/  
豊富町総務課 TEL.0162-82-1006



**厚沢部町** **全国から注目される保育園留学!!  
ワーケーションを活用した家族での移住体験**



アスバラの収穫体験を楽しむ親子 留学先の認定こども園「はぜる」の遊戯室

厚沢部町では、未就学児のいる家族の新たなワーケーションの形として、子どもの一時預かり制度とテレワークの可能な移住体験住宅、農作物の収穫などの生活体験を一体とした「保育園留学」に取り組んでいます。  
こうした新しい取り組みが評判となり、全国から予約が殺到し、キャンセル待ちやリピーターも出ています。

問い合わせ先/  
厚沢部町政策推進課 TEL.0139-64-3312



**北広島市** **エスコンフィールドHOKKAIDOの開幕戦まで  
カウントダウンを一緒に楽しもう!**



開幕戦カウントダウンを盛り上げよう 投稿写真には事務局で「あと〇日」を記載します

プロ野球・北海道日本ハムファイターズの新本拠地として、「エスコンフィールドHOKKAIDO」が、北広島市Fビレッジによいよ3月にオープン!!  
北広島市では、3月30日(木)に行われる開幕戦に向けて、皆さんから提供していただいた写真を使ってSNSで毎日カウントダウンを行っています。あなたも一緒に参加してみませんか。

問い合わせ先/  
北広島市ボールパーク推進期成会事務局  
(市企画財政部ボールパーク推進課内)  
TEL.011-372-3311(内線3632)



**網走市** **流氷観光耐氷船「おーらら3」がデビュー!  
流氷をめざして、さあ冒険に出かけよう!**



流氷観光耐氷船「おーらら3」 展望デッキから眺めた流氷(おーららから)

流氷観光クルーズは、ことしの冬季運航から、新しい小型の観光船「おーらら3」がデビュー。船体には通常の2倍も厚いアルミを使用し、流氷にも近づいて航行できます。  
また、水中ドローンが海中から流氷のリアルタイムを船内のモニターに映し出すので、さまざまな角度から流氷をお楽しみいただけます。  
流氷観光砕氷船「おーらら」と共に、夏の知床観光でも利用される予定です。

問い合わせ先/  
道東観光開発株式会社 TEL.0152-43-6000



酪農の家畜ふん尿処理を行うバイオガスをプラントを核として、そこで生産している「電気・熱・水素」などの多様なエネルギーを循環させるしくみを確立します。さらに、地域特性を生かして、太陽光発電や地中熱に加え、水素燃料電池や精製メタンなど、再生可能エネルギーの最大活用を進めています。

こうした中、水素などの脱炭素自動車や省エネ家電の導入を促す町民向け補助金の利用件数が伸びているほか、役場職員に徒歩・自転車通勤を推奨するプロジェクトが成果を上げています。町民の環境意識の高さをどのように行動につなげるかが大切だと考えています。今後も、町全体で環境価値の向上による新たな地域づくりを進めていきます。



●取り組みの背景は?  
鹿追町は、農業と観光を基幹産業とする人口約5,200人のまち。貴重な自然を守り、持続可能な産業と社会づくりを目指すうえで「環境は重要なテーマです」。

2021年には、十勝管内で初めて、2050年までの脱炭素化を目指す「鹿追型ゼロカーボンシティ」への挑戦を表明。2022年4月には、環境省の脱炭素先行地域に選定され、ゼロカーボンの取り組みが加速しました。

●「鹿追型ゼロカーボンシティ」とは?  
酪農の家畜ふん尿処理を行うバイオガスをプラントを核として、そこで生産している「電気・熱・水素」などの多様なエネルギーを循環させるしくみを確立します。さらに、地域特性を生かして、太陽光発電や地中熱に加え、水素燃料電池や精製メタンなど、再生可能エネルギーの最大活用を進めています。

鹿追町企画課企画係  
ICT・エネルギー担当係長  
はやしだいすけ  
林 大介さん



●今後の活動は?  
大学生と一緒に活動したことで、SDGsと地域課題について多くの視点を学ぶことができました。私たちが見たことや感じたことを、成果発表などで多くの人たちにわかりやすく伝えたいと思います。

「これまでの活動内容と手応えは?」  
7月に北海道大学でSDGsの講義を受け、10月には留萌管内の風力発電施設、資源化施設、最終処分場をみんなで見学しました。普段入ることのできない施設なので、驚くことばかり。風力発電施設では、留萌の風の強さはデメリットばかりではなく、エネルギーを生む地域資源なんだと感動しました。また、資源化施設では、正しく捨てられなかったごみの再分別に努力を使っていると感じ、シヨックを受けました。最終処分場でごみの山を見て「自分の家はどうかろう」と思い、ごみの出し方を家族と一緒に直したりもしました。

留萌高等学校  
1年 たなか しおり  
田中 詩織さん

**檜山振興局** **みんなでゼロカーボンドライブ! 再エネ電気自動車の休日有料レンタルを始めます**

檜山振興局では、ことし3月からゼロカーボンEV体験の取り組みを開始します。この取り組みは、公用車として導入した電気自動車(EV)2台を、振興局の閉庁日等に、地域住民の皆さん、旅行や仕事などで檜山に訪れる皆さんに有料でお貸しし、今後、普及が期待されるEVの試乗体験を行うことで、地域の脱炭素化を効率的に推進する試みです。  
導入するEVには、敷地内に新設する太陽光発電設備付きのカーポートから電気を供給するため、再生可能エネルギーのみで運行する環境に優しいゼロカーボンドライブを実現します。  
また、太陽光で発電した電気は、庁舎内での利用や災害時の非常電源としての活用も想定しており、電気料金の節約や災害時対応の強化にもつながります。

完成イメージ図

問い合わせ先/ 檜山振興局環境生活課  
TEL.0139-52-6492



広告

広告

**特集** 地域の未来を創るゼロカーボン北海道

**地域でゼロカーボンに取り組んでいます!**

全道に広がってほしいね!